



SIC システム化人財育成活動事業

1. SIC の人材育成

科学技術の各分野における進歩が加速しているなかで、先端的な科学技術の成果を社会がバランスよくしかも十分に享受するには、うまく作られたシステムが必要です。システムは科学技術と社会の界面です。システムイノベーションとは、「システムを構築、運用、進化させることによって新しい価値を生み出すこと」です。システムイノベーションセンター(SIC)の役割はシステムイノベーションを推進することであり、そのための人材を育成することはセンターの三つの主要な目的の一つです。

2. 人財育成の講座、研修の開催

このような基本方針のもと、以下のような人財育成の講座、研修を実施しています。

● システム塾の開催

システム人財の育成を目的としたファシリテーション型の対話塾を開催しています。



● 研修講座

最適化、数理モデリング、制御、サービス科学、表現モデリング、社会シミュレーションなどのトピックを限定したシステム化研修講座、システム科学全体を見渡す現代システム科学講座が開催されています。

また、企業の経営者層を対象とした「経営者研修講座」を開設し、システム構築を通じた新しいビジネスの形とそれを推進する企業文化を作り上げる方を経営者同士が語り合いました。



● ケーススタディ講習会

システム化の実事例を取り上げ、その社会的、学術的背景から、具体的なシステム構築の実際までを、当事者を交えた講師陣から学びます。



● 学術協議会特別講義

学界からの会員で構成される学術協議会から推薦を受けた学会会員により、それぞれの専門分野についてその基礎から最新の技術開発動向までを講義します。

(*それぞれでの直近の開催実績を、4.に記載します。)

3. 「システム人」の認定と交流

「システム人」とは、SIC が主催する各種研修講座に参加された方の総称です。縦割り社会の中で横串を刺し、真の「システム化」を実現する仲間です。

システム化の活動は、「システム思考」、「システム構築」、「システム運用」から構成されますが、これらを意識して、システムによるイノベーションを確固たるものにするためには、多くの方々の志を一つにする必要があります。そのためにはシステム化の活動に対するモチベーションの向上、参加者同士の人的チャネルの構築などはもとより大切な要素です。

そこで、SIC の人財育成活動に参加された方々を「システム人」として認定し、その交流会を開催しています。



4. 人財育成活動の実績

人財育成協議会による近年の SIC 人財育成活動の実績を紹介します。

(表は、左から、開催日、内容と講師、受講者数です。)

2022 年度

(1) 学術協議会特別講義

3 月 7 日	これからのロボティクスに求められる AI とは: 下田真吾(理化学研究所)	30 名
3 月 28 日	ネットワーク化された自律システム: 藤田政之(東京大学)	38 名
6 月 22 日	計算社会科学で社会の動きを観る: 鳥海不二夫(東京大学)	40 名
12 月 20 日	物理シミュレーションの現在: 泰岡頭治(慶應義塾大学)	21 名

(2) 連続講座「現代システム科学概論」

4 月 23 日	「システムイノベーションとシステム科学の歴史」 木村英紀 (SIC)	68 名
5 月 14 日	「現代システム科学の古典的な基礎: 周波数とは何か?」 木村英紀 (SIC)	68 名
6 月 11 日	「最適化: システム構築の最前線のツール」 木村英紀 (SIC)、梅谷俊治(大阪大学)	68 名
7 月 9 日	「モデリング: システム解析の知的基盤」 木村英紀 (SIC)、奥宏史(大阪工業大学)	73 名
9 月 10 日	「ネットワーク: システムと社会の接点」 木村英紀 (SIC)、池田裕一(京都大学)	64 名
10 月 8 日	「予測と推定: 未知を既知に変えるシステム科学の魔術」 木村英紀 (SIC)、中野慎也(統計数理研究所)	62 名
11 月 12 日	「制御: 産業革命は制御から始まった」 木村英紀 (SIC)、滑川徹(慶應義塾大学)	68 名
12 月 10 日	「学習: AI の過去・現在・未来」 木村英紀 (SIC)、麻生英樹(産業技術総合研究所)	64 名

1 月 14 日	「AI とロボasts制御」 木村英紀 (SIC)、麻生英樹(産業技術総合研究所)	61 名
----------	---	------

2023 年度

(1) システム人交流会

8 月 26 日	「デジタルからシステムへ」 キーノートスピーチ: 横山和輝(名古屋市立大学)・元村有希子(毎日新聞論説委員)、認定書の授与、交流会	38 名
----------	--	------

(2) 経営者研修講座

2 月 1 日	第 2 回を開催 パネル討論「企業を超えた全体最適化の道を探る」	36 名 (SIC 正会員 12 名、非会員 24 名)
---------	-------------------------------------	------------------------------



(3) ケーススタディ研修講座

10 月 28 日	「NTT ドコモ顧客管理システム ALADIN の構造改革に学ぶ」	12 名
-----------	-----------------------------------	------

(4) 学術協議会特別講義

2 月 13 日	リアルスケール社会シミュレーション: 村田忠彦(関西大学)	23 名
7 月 18 日	制御システムセキュリティとその技術変遷: 満永拓邦(東洋大学)	28 名

この他、2022 年、2023 年には SIC 講演イベントとして、

- ・SIC 分科会活動報告会
- ・SIC 産学交流会 2 回
- ・SIC フォーラム 5 回
- ・SIC 戦略フォーラム 18 回

等が行われました。

(<https://sysic.org/center activity cat/event> 参照)

